

令和3年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

区内の65歳以上の高齢者人口は増加傾向にあり、75歳以上の後期高齢者は2010年比の2030年増加率が横浜市18区中青葉区が1位と予想されており、当地区の高齢者人口は今後増加していくことが確実といえます。
 当ケアプラザの担当地区（山内・美しが丘）においても、高齢者人口が6,000人を超え、介護予防に関する意識が高く、健康体操やウォーキングへのニーズや参加率が高くなっています。
 地域包括支援センターに寄せられる相談内容をもても、介護・医療問題が年々増加し深刻化してきています。特に駅開通時から長年お住まいの方の高齢化が一気に進んでおります。また、日常生活の中で、高齢者虐待、緊急対応、精神疾患、多問題家族等に関して無縁ではありません。
 当ケアプラザでは、昨年から続くコロナ禍で、特に高齢者のフレイルが深刻化しています。介護予防の啓発・強化に取り組み、子育て世帯に向けても、多種多様な事業や交流の場を提供しながら、地域住民が健やかに生活を送れるよう支援していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の包括カンファレンスⅡに加え、適宜、事業企画や意見交換、情報共有を行う。 ・個別ケースの検討に際しては、必要に応じて障がい担当職員や生活支援課職員等にも参加してもらうことで随時部署間で横断的な支援が実施できる体制を成熟させる。 ・セーフティネット会議等の会合には実務担当者が出席する。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	健康促進・介護予防の必要性について理解を深めるための活動を継続して実施する。年間テーマを「ポジティブエイジング」として介護予防普及強化事業への取り組み、自主事業の中で多様なメニューを提供していく。 ・地域性、状況に合わせ、新しい生活様式に合わせて内容を工夫して開催する。介護予防講座では、栄養、口腔機能、難聴、健康ミニ講話、ハマトレの推進に加え、体力測定やコミュニティーカレッジの開催など多様なメニューを提供する。
■	<input type="checkbox"/>	昨年は美しが丘地区で地域ケア会議を実施したが、今年度は山内地区を対象とした地域ケア会議を開催する。会議には、関係機関・団体に参加を打診する。 山内地区民児協に5職種交代で出席し、個別ニーズや地域課題の把握、連携強化を図る。個別相談の地域・相談種別等の分析をし、地域課題を把握する。
■	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足の団体に対して運営自体の見直し提案を行い、新規のボランティア参加がしやすい支援を行う。 ・ボランティア募集のチラシやブログで周知する。 ・ボランティア講座を開催する。
■	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て版地域ケア会議(web)を開催する。 ・子育て活動マップを作る準備をする。 ・「スマイル♡ファミリー」を定期開催する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和3年度横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>○介護保険サービスの相談や利用を希望する本人、家族に対して、介護サービス事業者ガイドブックを用いて複数の事業所を提示します。</p> <p>○居宅介護支援事業所や介護保険サービス事業所等を仲介・調整するに際し、本人、家族に可能な限り、各事業所の特徴や内容、所在地を伝えた上で、本人、家族に選定していただきます。</p> <p>本人、家族の意向を尊重して、特定の事業所に偏らないように職員間で情報を共有し、ケースの依頼に際して公正・中立性を確保します。</p> <p>○ケアプラザの貸館についても施設利用マニュアルを守り、透明性のある施設管理を行います。貸館利用希望が競合した場合、抽選により当落を明確にして、公正中立を確保します。</p>	<p>○事故防止については、様々な状況を想定した対応を備えておきます。職員で構成した『安全管理委員会』において、[防火・防災対策][医療・感染症対策][車両整備][事故防止・インシデント対策][設備点検]の部会に分かれて、定期的な会議や必要に応じた点検作業を実施していきます。</p> <p>○個人情報保護については、「個人情報保護に関する規程」を定め、職員に遵守することを義務付けます。年度初めに個人情報保護研修を必ず実施し、個人情報の取り扱い方や自主点検を行い、漏えい事故防止に努めます。FAXでの個人情報を含む書類の送信は原則として行いません。やむを得ない場合は個人情報をマスキングした上で、ダブルチェック体制をとって行き、誤送信のないようにします。個人情報書類の受け渡しで、郵送手段を取る場合も、誤送付のないようダブルチェック体制をもって取り組んでいきます。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員、介護予防プランナーが、ご利用者に寄り添い、ご利用者が望む在宅生活が送れるよう、自立に向けた介護予防ケアマネジメントが行えるように努めます。 ・担当地域の要支援の介護認定を受けている方が増えており、居宅介護支援事業所への委託を推進していきます。 ・業務委託している居宅介護支援事業所のケアマネジャーが、ご利用者の自立に向けた介護予防支援・ケアマネジメント業務が行えるように、相談支援に努めます。 ・介護予防ケアマネジメントの手法について研修を行い、プラン作成担当者の個々のスキルアップに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者・ご家族のニーズに思いやりをもって対応し、安心と信頼館を得られるよう心がけ、ご利用者様が望む在宅生活を送れるようケアマネジメントに努めます。 ・併設する地域包括支援センターと連携して、地域課題を含め対応困難な事例に取り組んでいきます。 ・他の居宅介護支援事業所と連携し、ケアマネジメントの手法について、医療・保健・介護等を包括的に捉えた研修を行い、介護支援専門員個々のスキルアップに努めます。 ・特定事業所加算を取得し、上限担当件数を維持して、事業収入の安定に努めます。
利用料金・実費負担		
職員体制	看護師1名 ケアマネジャー2名 社会福祉士2名 計5名(管理者1名含)	ケアマネジャー 計3名(常勤兼任1名、常勤専従2名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	23,272,130		23,272,130		23,272,130	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000		100,000	
雑入	110,000	0	110,000	0	110,000	
印刷代	50,000		50,000		50,000	
自動販売機手数料	60,000		60,000		60,000	
その他			0		0	
その他	△ 4,784,000		△ 4,784,000		△ 4,784,000	
収入合計	18,698,130	0	18,698,130	0	18,698,130	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,527,000	0	8,527,000	0	8,527,000	
本俸	6,036,000		6,036,000		6,036,000	
社会保険料	511,000		511,000		511,000	
手当計	1,855,000		1,855,000		1,855,000	
健康診断費	48,000		48,000		48,000	
勤労者福祉共済掛金	25,000		25,000		25,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	52,000		52,000		52,000	
その他			0		0	
事務費	1,432,000	0	1,432,000	0	1,432,000	
旅費	80,000		80,000		80,000	
消耗品費	150,000		150,000		150,000	
会議随費			0		0	
印刷製本費	90,000		90,000		90,000	
通信費	300,000		300,000		300,000	
使用料及び賃借料	637,000	0	637,000	0	637,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	17,000		17,000		17,000	
その他	620,000		620,000		620,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	85,000		85,000		85,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費	70,000		70,000		70,000	
その他			0		0	
事業費	342,000	0	342,000	0	342,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000		300,000	
その他			0		0	
管理費	4,590,000	0	4,590,000	0	4,590,000	
光熱水費	864,000		864,000		864,000	
清掃費	1,210,000		1,210,000		1,210,000	
機械警備費	115,000		115,000		115,000	
設備保全費	1,801,000	0	1,801,000	0	1,801,000	
空調衛生設備保守	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
消防設備保守	71,000		71,000		71,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	30,000		30,000		30,000	
共益費			0		0	
その他	600,000		600,000		600,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	860,000	0	860,000	0	860,000	
事業所税			0		0	
消費税	860,000		860,000		860,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	16,225,000	0	16,225,000	0	16,225,000	
差引	2,473,130	0	2,473,130	0	2,473,130	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	0	300,000	
自主事業 収支	△ 200,000	0	△ 200,000	0	△ 200,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	60,000	0	60,000	0	60,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	17,000	0	17,000	0	17,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	43,000	0	43,000	0	43,000	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	26,476,000		26,476,000		26,476,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	110,000		110,000		110,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000		5,795,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	34,416,000	0	34,416,000	0	34,416,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,642,000	0	30,642,000	0	30,642,000	
本俸	16,989,000		16,989,000		16,989,000	
社会保険料	3,595,000		3,595,000		3,595,000	
手当計	9,569,000		9,569,000		9,569,000	
健康診断費	51,000		51,000		51,000	
勤労者福祉共済掛金	33,000		33,000		33,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	405,000		405,000		405,000	
その他			0		0	
事務費	1,001,000	0	1,001,000	0	1,001,000	
旅費	8,000		8,000		8,000	
消耗品費	150,000		150,000		150,000	
会議滞在費			0		0	
印刷製本費	110,000		110,000		110,000	
通信費	490,000		490,000		490,000	
使用料及び賃借料	195,000	0	195,000	0	195,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000		5,000	
その他	190,000		190,000		190,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	22,000		22,000		22,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	16,000		16,000		16,000	
リース料			0		0	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	1,147,000	0	1,147,000	0	1,147,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	102,000		102,000		102,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,060,000	0	1,060,000	0	1,060,000	
光熱水費	230,000		230,000		230,000	
清掃費	330,000		330,000		330,000	
機械警備費	30,000		30,000		30,000	
設備保全費	470,000	0	470,000	0	470,000	
空調衛生設備保守	444,000		444,000		444,000	
消防設備保守	19,000		19,000		19,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	7,000		7,000		7,000	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	33,976,000	0	33,976,000	0	33,976,000	
差引	440,000	0	440,000	0	440,000	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	517,000	0	517,000	0	517,000	
自主事業 収支	△ 517,000	0	△ 517,000	0	△ 517,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	0	5,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	0	△ 5,000	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ

令和3年4月1日～ 令和4年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	4,700,000			5,500,000		5,500,000	22,000,000		22,000,000			0			0
その他	0	0	0	0	0	0	270,000	0	270,000	0	0	0	0	0	0
事業・負担金収入			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0	270,000		270,000			0			0
収入合計(A)	4,700,000	0	4,700,000	5,500,000	0	5,500,000	22,270,000	0	22,270,000	0	0	0	0	0	0
支出															
人件費			0			0	20,600,000		20,600,000			0			0
事務費			0			0	1,735,000		1,735,000			0			0
事業費			0			0	300,000		300,000			0			0
管理費			0			0			0			0			0
その他			2,700,000	3,150,000	0	3,150,000	380,000	0	380,000	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料	2,700,000		2,700,000	3,150,000		3,150,000			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0	380,000		380,000			0			0
支出合計(B)	0	0	2,700,000	3,150,000	0	3,150,000	23,015,000	0	23,015,000	0	0	0	0	0	0
収支 (A) - (B)	4,700,000	0	2,000,000	2,350,000	0	2,350,000	-745,000	0	-745,000	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業</p> <p>3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3)</p> <p>6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1: 優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児</p> <p>4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者</p> <p>7: その他</p>
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	運動初心者のための椅子に座って体操!	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の概ね65歳以上の方で、運動初心者を対象とした「転倒予防」教室。運動のきっかけ作りや習慣を身に付けて健康維持に繋げる教室。	1: 高齢者		地域の高齢者 定員20名 ※(募集は20名)前期(5~9月)後期(11~3月)で5回連続の同内容の講座を2期開催。運動リスクが高い方を中心として参加者を募集。		
2	おもちゃのひろば@たまプラーザ チャレンジタイム	平成26年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	発達心配のあるお子さん・障がいのあるお子さんやその家族が安心して過ごせる場の提供。障がいのあるお子さんのだけでなく子育て当事者の育児疲れの緩和や悩み事の相談の場になるようPRしていく。	2: 障害児・者		発達心配のあるお子さん・障がいのあるお子さんやその養育者。また子育て中に不安を感じている養育者の方に息抜きをしてもらう場にもしていく。		
3	発達凸凹の子どもの支援を考える会	平成25年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	発達凸凹のあるお子さんが、その子らしく安心して生活できる周りの大人たちがどのように関わっていくことができるか、親や周りの大人が子供の持つ困難さを理解し、親と子や支援者がより良いコミュニケーションを図る方法を知る機会。	2: 障害児・者		発達障害のある子供を持つ親やその支援者。子供がどのように感じるかや、接し方や考え方を学ぶ。		
4	夏休み子どもワークショップday ■バルーンロケットを作ろう! (ミニ講義と工作)	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	夏休みの小学生の居場所づくり。小学生の夏休みの課題に対応する内容の事業も含む。親子でのふれあい、地域の家族同士の交流を目指す。講師はJAXA藤島徹氏	4: 子ども・青少年		7/31(土)10時~11時30分 小学生(と保護者) 定員:15組 参加材料費100円		
5	パパと一緒に作ろう! (工作) ■開催 :6/12あおむし、7/3七夕、11/27クリスマス 1/29節分など	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の将来の担い手育成を視野に入れ、地域でのパパ仲間作り(パパサロン)を目指すきっかけ作りの講座。スマイルファミリースペシャルとして、パパ以外でも参加可能とする。	4: 子ども・青少年		2歳幼児のいる地域の父親。(未就園児を対象)		
6	おやこでリミック (こどもの詩保育園共催)	平成26年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	音楽に合わせて身体を動かし、ケアプラザで安心して親子で楽しく過ごすようにしよう。孤育で予防、他者との交流のきっかけを作るための場の提供。3回を1セットにすることで、毎回同じ参加者で顔を合わせることに知り合いを作り易くする。1期は各回申込。 ※8月	4: 子ども・青少年		あんよができるお子さん~未就学児とその保護者。 定員:8組		
7	おはなしごっこ	平成25年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	おはなしごっこチームたまプラーザのメンバーによる、絵本の読み聞かせやお話し会と絵本の紹介。絵本の楽しさを体感し、参加者は読み聞かせのスキルを学ぶ。また、参加者から読み聞かせの担い手を育成し、活動を充実させていく。定員は1~3歳の子どもの保護者8組。	4: 子ども・青少年		就学前のお子さんとその養育者。おはなしごっこのメンバーによる読み聞かせと絵本の紹介。絵本を通し親子が共に楽しめる時間を過ごす。会を継続し参加者から担い手の育成もしていく。		
8	スマイル♡ファミリー	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子どもを安全な環境で遊ばせられる環境を提供する。利用できる月齢を区切り安全を確保する。また地域のボランティアさんの協力を得、定期的に様々なイベントを提供し、育児の不安や疑問の解消、仲間づくり、居場所作りの場にする。	4: 子ども・青少年		地域にお住いの未就園児とその養育者。		
9	赤ちゃん学	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	プレパパママや0歳児を持つ家族対象に、赤ちゃんの発育を学問的に学び、楽しく興味深く育児に向き合う。また、3回の講座とし、講座の後はワークショップを実施し、交流を図る。	4: 子ども・青少年		プレパパママ 0歳のこどもの保護者 保育10組 保育無しは20名		
10	子育てママのためのおしごと復帰「プレ・サロン」	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	男女共同参画センター(アートフォーラムあざみ野)共催。地域ニーズの高い、育休中のママを対象とした企画。お仕事復帰、ライフプランについて考える。	4: 子ども・青少年		6ヶ月~未就学児を持つ女性10名。		
11	大人のぬり絵	平成30年度	5: 共催 (1と3)	1: 優先的に取り組み	講師不要で、経験も技術も不要、気軽に参加でき、脳への刺激効果でリフレッシュや認知症予防を期待。音楽も運動も興味の無い方への集いの場、居場所作り。また、途中で紅茶を飲みながら交流を楽しむカフェとして、紅茶ボランティアサークルの活動の場とする。	5: 地域	高齢者	地域住民(どなたでも)		
12	大人の折り紙	平成30年度	5: 共催 (1と3)	1: 優先的に取り組み	カフェの壁面を飾る季節のお花を折り紙で作る。おりがみボランティアを育成も目指す。音楽や体操を苦手とする方の外出機会と居場所作り。	6: 地域	高齢者	地域住民(どなたでも)		
13	Xmas親子コンサート	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	音楽をコンサートホールで聴くことが難しい方(障がい者・後期高齢者・子育て中の方等)に、気軽に安心してケアプラザで楽しんで頂く。 ※12月は親子コンサートを初開催予定	4: 子ども・青少年		地域住民(どなたでも)		
14	団体交流会	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	施設を有効に活用し、地域活動をさらに充実させるために、各団体の情報交換や交流を深めていただくことが大切であると考え、開催する。団体同士の連携が生まれ、ボランティア活動が活発になる効果が期待できる。	5: 地域		登録団体 I・IIの代表者		
15	災害時を考えるシリーズ	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	災害時応急法、ベト対策に続き、地域への災害時への備えを喚起・周知する。子育て中の親子の災害対策や知識を得る。	5: 地域		地域住民(どなたでも)親子		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	みんなで作る文化祭	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録団体Ⅱによる舞台発表と展示発表の会。"ぶらボラ"他ボランティアと協力の下、運営スタッフにも団体Ⅱを活用し、みんなで作り上げる発表会とする。	5:地域		地域住民(どなたでも)		
17	たまプラーザ地域ケアプラザまつり	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	日頃お世話になっている地域の方々への感謝とケアプラザの周知を目的に開催。	5:地域		地域住民(どなたでも)		
18	認知症予防カフェ「ぶらぶらっとカフェ」	平成26年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	認知症や集う場を持たず引きこもっている住民が誰でも集える場、症状進行の予防・症状の改善や廃用性機能低下の予防を図る場とする。また、地域を支える支え手(ボランティア)の活躍の場を提供し、地域住民の発案と運営にて開催していけるようサポートする。	1:高齢者	地域	地域住民(認知症の方や家族、または理解・関心のある方) 定員:60名		
19	山内脳活レク	平成26年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	山内地区を中心とした近隣地域の高齢者を対象とした認知症予防や介護予防、健康促進、閉じこもり予防、地域交流に加え、地域包括支援センターの機能・役割等を周知することを目的として開催。	1:高齢者	地域	・年1回 ・会場 山内地区センター ・大場地域ケアプラザ、美しが丘地域ケアプラザ、山内地区センター共催 レクリエーションや脳トレ、コグニサイズの他、包括支援センターの機能説明などを行う		
20	よこはまシニアボランティアポイント研修	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民のボランティア活動を促進するために「よこはまシニアボランティアポイント」の取得を推進することを主目的とする。また受講者間の交流の機会を設け、情報交換等を通じ相互の意欲向上の促進や、ボランティアを募集している施設職員との交流の機会を準たる目的とする。	1:高齢者	地域	・年1～2回を予定。近隣のケアプラザや地区センターとの共催を予定。 前半は生活支援コーディネーターによる「よこはまシニアボランティアポイント」の説明、後半は施設職員を交えたグループワークを実施。		
21	ヤマリンの部屋	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	山内地区センター及び地域ケアプラザの周知と共に、地域住民の居場所作りと多世代間交流を目的とする。昔遊びなどを通して高齢者とお子さんの交流だけでなく、保護者にも参加していただくことで、子育て世代に地域活動の必要性を認識していただくことも視野に入れている。	5:地域	高齢者	・年3回 ・会場 山内地区センター ・大場地域ケアプラザ、美しが丘地域ケアプラザ、山内地区センター共催 ・昔遊び、正月遊びなど毎回テーマを決め行う。		
22	モルックをはじめませんか	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	新石川地区の開拓の一つとして開催。体操以外のスポーツのニーズを把握する。体操とは異なる団体競技で参加者同士の交流を図る。また知名度は発展途上にあるモルックを用いることで初心者でも気軽に参加できることを目的とする。	1:高齢者	地域	・計4回開催 ・会場 新石川スポーツ会館 ・新石川スポーツ会館と共催 ・横浜市体育協会、さわやかスポーツ普及委員会協力のもと、ポッチャのルールを学び、実際にゲームを実施。準備体操にはハマトレを取り入れて行う。		
23	介護者家族の集い	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者家族を対象に、同じような介護の悩みや不安を抱えている人同士のピアカウンセリングや、日々の介護で役に立つ情報共有や交換、一時介護を離れて心身の休息(レスパイトケア)を目的として開催する。	7:その他		ミニ講演や茶話会を中心に開催。 ・会場 たまプラーザ地域ケアプラザ 美しが丘地域ケアプラザ ・年5回開催 ・美しが丘地域ケアプラザ共催		
24	オレンジカフェ@ぶらに(仮)	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域ケアプラザ外の場所で、住民主体の認知症カフェを作ることとする。ケアプラザ内で開催されている認知症カフェとの差別化を図るため、基本的にはあえて目的を持たず自由な雰囲気の中で高齢者とその家族、独居高齢者の居場所としての機能を持たせる。	1:高齢者	地域	・月2回程度を予定 ・会場美しが丘1丁目「ぶらに」(スタジオフォン) ・年に数回程度、介護サービス事業所や地域の薬局等による健康講話を開催		
25	福祉講座	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	たまプラーザ地を中心に担当区域での独居高齢者、高齢世帯の増加とそれに伴う相談が顕著になりつつある(個別総合相談ケース、来館者・地域の会合等からのヒアリング、地域ケア会議等々より)。上記を鑑み、急な体調不良等の相談・問い合わせ先、一時的な生活上課題が生じた場合の手段、日常での見守りサポートの選択肢、将来的に疾患や認知症等を発症した時の対応や利用できる制度等々について、住民に適切に情報が届くことを目的とする。 また、潜在化している要介護者やそれに準ずる対象者の発見し、さらに地域の関係機関・団体とネットワーク構築を目的とする。	1:高齢者	地域	これまでの事業アンケートや地域住民・福祉保健関係者からのヒアリングをもとに抽出された課題を基にテーマを設定し、複数回に分けて各制度・サービス等を提供している機関、事業所、企業等を講師やパネリストに招いて講座形式で実施。 ・会場 たまプラーザ地集会場 ・年4～6回開催		
26	わたしノートサロン	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	第7期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中に戦略として「本人による自己決定支援、エンディングノート等の作成・普及等」が位置付けられている。それを受けて「わたしノート」を手元に置いて終わりにするのはなく、実際に記入する場を設けて、これまでの人生の振り返り、今後どのように生活をしていくかを考えるきっかけづくりを講座やサロンを通じて実施する。	1:高齢者	地域	講座形式で1回、サロン形式で全5回で開催する。 ・会場 たまプラーザ地域ケアプラザ 美しが丘地域ケアプラザ ・美しが丘地域ケアプラザ共催		